

議会報告会報告書

開催日時	令和7年2月2日（日） 14時00分 ～ 15時42分	
開催場所	三浦市役所 議場	
報告対象者	三崎地区区長会（各区の役員等を含む）	
出席議員	代表者	草間 道治
	司会者	草間 道治
	報告者	石崎 遊太・森谷 久一郎
	記録者	長島 満理子
	その他	出口 眞琴議長 他8人の議員
参加人数	25人 他4人の傍聴者	
報告会の概要	<p>開会 三浦市議会議長挨拶 区長会代表挨拶（油壺若草区区長） 議員自己紹介 各区役員等自己紹介 議会運営委員長から趣旨説明</p> <p>議会からの報告 （1）共通テーマ 議会におけるICT推進について 質疑応答 （2）地区別テーマ 新海業プロジェクト等について 質疑応答</p> <p>懇談 閉会</p>	

1. 共通テーマ 議会におけるICT推進について

	参加者からの発言	議会の回答
報告に対する 質疑応答	○タブレットを使うことによって提供されている情報量は多くなったのか。	○共有されている情報は今まで紙資料だったものがアップされている。提供されている量は増えている。タブレットの容量上限までは達していない。予算決算に関しては資料が膨大なため紙資料になっている。フルに活用できるように勉強している。
	○原区役員も今までペーパーで会議をやっていたが、イベント等の参加はLINEを活用している。(意見のみ)	
	○災害時に携帯が使えない、ラインも使えないがどうか。	○サーバーもダウンすると使えなくなるが、選択肢として道路が寸断され一堂に会せない場合でもネットワークは使える可能性はある。意見集約を行うための選択肢として、ネットワークを使用している。情報伝達機能があるのは悪いことではない。
	○埼玉県八潮市の陥没事故で、一部が寸断されて使えないこともある。	○サーバーがダウンした場合、どのようなコミュニケーションをとっていくか想定しなければいけない。貴重な意見としてICT等検討会でも考える。

2. 地区別テーマ 新海業プロジェクト等について

	参加者からの発言	議会の回答
報告に対する 質疑応答	<p>○西海上区で色々と不安を持っている方がいる。意見に寄り添って頂きたいと思っている。</p>	<p>○興和グループが事業を始める。3月に基本協定を締結した後、事業計画が発表になる。関係団体としっかり協議した中で、市が仲介し、規制緩和については県等に要望していく官民連携事業である。本市としても、これだけ大きい事業は初めてであり、ぜひ成功させたいという吉田市長の強い想いも受け、進んでいる。関係団体の理解を得られるように議会からも押し上げていくので理解をお願いしたい。</p>
	<p>○三崎まぐろ加工センターの図面が市から出ていない。市議が中に入って市との調整をできないのか。事業者の気持ちになってやってもらいたい。議員から説明をしたらどうか。三浦市はまぐろや加工がないとだめなのでしっかりとやってほしい。</p>	<p>○加工センターは5階建ての商業施設に入る予定と聞いている。組合とはしっかり協議するように伝えているので、議会としても対応していく。水揚げ場所については決定していない。今後の計画の中で行政が関係団体と協議した中で場所がはっきりしていく。 1月から関係団体に説明をしている。その後、市民全体に公表していくと聞いている。</p>
	<p>○三崎中学校のグラウンドが1年たっても何もできない。喫茶店のようなものができるという情報もあるが、どうなっているのか。</p>	<p>○城山地区の利活用については、情報公開があまりされていない。グラウンドについては、安田造船の不動産部が購入している。 議会としては、附帯決議をしているので、事業計画を速やかに出し、議会並びに市民へ公表してもらいたい。現庁舎も売却予定となっているが、移転が8か月延びることから利活用も延期されることが協議され</p>

	<p>○一昨年の12月、旧三崎中学校跡地の避難所について市長室に申し入れをした。5つの区が避難所として使っているのを売却後も使えるようにしてほしいと申し入れをしたが回答がない。(意見のみ)</p> <p>○庁舎の移転が8カ月遅れている、計画通りにいくのか、ほったらかし状態になるのか、不安がある。情報について前倒しで関係事業者や市民、議会に公表して頂きたい。</p> <p>○三浦市の人口減少が課題である。プロジェクトはお客さんが来るので良いと思う。しかし完成は10~15年後なので、若い人たちにこのプロジェクトは良いんだ、参加したい、雇用が増えると思えるような発表がないのが気になる。三崎地区は代替わりがない、人が流出している。プロジェクトが出来て、前段階から若者が参加できるような計画があれば、若い人が残る可能性もある。人が外に出ていかないように雇用のことも計画に入れて頂きたい。</p>	<p>た。速やかに事業計画書の提出や市民への説明を行うよう議会としても動いている。</p> <p>○後ほど、新海業プロジェクト以外について懇談する。大型事業であり、興和グループは二町谷の土地も取得している。それにつながる事業であり、三崎の活性化に重要な施策である。課題もあるのは事実である。議会としても情報公開を求めていく。</p> <p>○雇用がない、若い方が外へ行くのは承知している。雇用については、商業施設にホテルやレストラン、スパ等が入る予定と聞いている。その中で雇用が生まれるのではないか。うらりマルシェも約2倍の大きさになり、新たな出店者も増える可能性がある。今後の事業計画については未定であるが、議会もこの事業に十分注視をしていく。皆様の意見を市政へ反映できるように提案をしていく。</p>
--	--	--

懇談

参加者からの発言	議会の回答
<p>○旧城ヶ島分校が重要文化財になっている。雨漏り等しており、老朽化が進んでいる。修繕をお願いしたい。 漁師の資料館になっているが開いていない。</p> <p>○城ヶ島の公園に防災備蓄倉庫がある。観光客が増えている。100食あるが足りない。200食にしてもらいたい。</p> <p>○小学校を見学してください。グラウンドに石が出ている。岬陽小学校・上宮田小学校を何とかしてもらいたい。運動会でケガをしたら誰の責任になるのか。力を貸してもらいたい。</p> <p>○市役所が引橋に移転した場合、下町に支所を作ってもらえないと聞いている。移動出張所の予定とも聞いている。高齢者も多いので支所を作ってもらいたい。</p> <p>○新海業プロジェクトの対象外地区である向ヶ崎、晴海町、宮川についても考えて頂きたい。期待するところは、観光客が増えるのは難しいが、向ヶ崎や晴海町を歩いた人が良いなと思って住んでくれることがありがたい。向ヶ崎は年間約2軒移住しているが高齢化も進んでいる。渡し船の復活や観光客の公設トイレについて考えてもらいたい。</p>	<p>○文化財について一度視察をした中で対応をさせて頂きたい。</p> <p>○備蓄が少ないと初声地区でも要望があった。その他、ダンボールベッドも必要と提案もあったので、精査していく。</p> <p>○グラウンドについて議会から調査をさせていただく。</p> <p>○議会として一致した回答ができないが、市長もこの件に関しては新たに分庁舎の設置は今のところは考えていないと答弁している。8カ月庁舎移転が延期されるので、その中でどのように変わっていくか予測はつかないが、移動出張所で対応していくという答弁である。今後も移転するまで色々な意見が交わされるので、皆様の不安を回避できるようにできたらいいと思うので、しっかり検討していきたい。</p> <p>○三崎港からの東ルートの拡幅工事の計画により活性化されることを期待していただきたい。</p>

○出張所について、市長は移動車と話していたが、私たちは反対である。出張所に関して市議の皆さんはどう動いてくれたか、考えてくれているのか。今まであった市役所がなくなるのは損失。一生の内でも何回も行くわけでもないが、市役所が必要で、相談する場合は問題を抱えている時であるが、そんな時、移動車で予約を取ることも、引橋まで行くのに交通費も負担がかかる。

○去年の6月に南下浦にコミュニティセンターができた。三崎下町には作らないという考え方がわからない。移動出張所が必要なら移動市役所をやってからだと思います。決め方が納得できない。

○出張所を作るとかではなく、下町地区の再任用職員の方をアドバイザーとして置いて頂くのも助かる。高齢化が進んでいるので、引橋まで行くのが大変だと思う。(意見のみ)

○空き家が多い。法律の改正により公費解体などが可能になると思うがどのような対応をしていくのか。

○リノベーションできるものはいいが、できないものは火災が発生したり壊れてケガをしたりという可能性が高いので、その点について考えてもらいたい。

○まだ、決定をしているわけではない。市長の考えでは移動車でやりたいと思っている。他の自治体を確認しなければいけない。一概に移動出張所がデメリットばかりではない。また、例えば常設の出張所を作ろうとなったときに、三崎地区は広いのでそこまで行くのは遠いから引橋へ行くという可能性もある。議会として反対しているわけではない。賛成や要望をしている議員もいる。今後の動きを皆さんに注視していただきたい。

○チェルSeaみうらは、南下浦市民センターが老朽化し耐震基準を満たしていないことや、子育てができるような住宅が欲しいという要望もあった中で、子育て賃貸住宅が建設された。その当時はまだ庁舎の移転の計画が正式に決定していなかったことを理解していただきたい。庁舎の移転については、中心核へもっていく約束もあったと聞いている。市制70周年の年に引橋に移転するというので、突然三崎からなくなったということではない。理解をお願いします。

○空き家対策ということで、不動産業者を含めて検討している。南下浦地区でも空き家が増えているので利活用していく、新しくリノベーションしていく考えもある。対策なども協議した中で報告させていただく。

○持ち主がいるものは、判断してもらおう。持ち主不明の場合はたどらなければならない、細かい点は、議会のほうで協議させてもらう。

<p>○市役所が移転したときに、ここ（城山地区）はどうするのか。</p> <p>○新庁舎移転について、執務室などのスペースを追加するとの記事がある。追加する前になぜ計画にあげなかったのか。10億円の増額について議員の皆さんが賛成している。税収が増額しているなら理解できるが、人口が減っているのに増額しているのは大変なことだと思う。</p> <p>○新庁舎建設費はこの庁舎の土地を売ったお金で賄うのか。</p>	<p>○この場所は安田造船の不動産部に売却する。</p> <p>○当初の38億円から42億円に変更になった。デザインビルドの方式でやる。資材や人件費の高騰により約5億円が上乗せされた。市民が利用しやすいことを第一に考えている。執務室に関しては、安全対策も考えシャッターをつけることで補正予算に計上された。付属棟の一部部屋を移動するため設計変更がされた。工事における勤務は4週8休、勤務時間は8時30分～17時30分と決められている。他市では20億円増え、建設が断念された事例もある。設計から一括してやるデザインビルドで行う。当初は業者から多額の案が出され、交渉の末、提示額となった。今後も議会として精査していく。</p> <p>○新庁舎建設に係る金額全てを売ったお金で賄えるわけではない。財政調整基金や他の基金を活用した中で、借金の部分もある。数値を見ながら大丈夫だと判断したが、議会としてしっかりチェックしていく。財政的に厳しくなるが、回避できるように模索していく。議会のチェック機能を十分果たさせていただく。</p>
--	--

上記のとおり報告します。

令和7年2月25日

議会運営委員長 様

報告者 長島 満理子

議会報告会の様子



○三崎地区担当の班員

左から

- | | |
|-----|----------|
| 司 会 | 草間 道治 議員 |
| 説明員 | 石崎 遊太 議員 |
| ” | 森谷久一郎 議員 |
| 記 録 | 長島満理子 議員 |